



進取

PTA 総会特別号

令和3年度 進路指導部通信

第2号

R3.5.7

進路指導主事より 今年度が1年目となります。誠実に対応させていただきます。 茂野大樹

1 進路決定までの流れ(詳しくは「進路の手引き」をご覧ください 毎年7月に全生徒に発行しています)

1年 文理選択 (7-9月予備調査 10-11月本調査 12月三者面談で決定)

- ①総合系:部活動など本校の特色を生かした活動を続けながら進路実現を目指すコース。
- ②文系/理系:部活も勉強も満遍なく頑張りながら進路実現を目指すコース。
- ③文理系:学力を伸ばし、国公立大学や難関私立大学進学を目指すコース。

Q:文系/理系でも国公立大学への進学は可能ですか?

A:令和2年度 クラス別国公立大学進学実績 (注:国公立大の指定校はどの高校にもない)

	3-1	3-2(文)	3-3(文)	3-4(理)	3-5(理)	3-6(文理)
総合型	0	0	0	0	3	0
公募型	0	0	0	4	3	3
一般	0	1	0	1	0	8

2年 科目選択 (7-9月予備調査 10-11月本調査 12月三者面談で決定)

- ①文系 (数学を受験で使うコース/使わないコース)
- ②理系・文理系理(数学Ⅲを受験で使うコース / 使わないコース)
※指定校推薦では、数学Ⅲを履修していることが受験条件になっている場合もある。
※文理系文は全員数学を選択するコース。
公務員希望者は2年秋・冬から公務員対策開始。

3年 7月 三者面談(全員) 夏休みに実施。

- ①就職(公務員含む)・専門学校:受験校等決定 本格準備へ
- ②短大・4年制大学(総合型選抜):早い学校は面談前からエントリー有り。
それぞれのタイミングで準備を進める。**一般受験前提**
- ③短大・4年制大学(学校推薦型・指定校):過去の状況から候補を検討。本年度版は夏休み以降。**一般受験前提**
- ④短大・4年制大学(学校推薦型・公募):大学からの条件(評点 4.0 以上等)はあくまで最低条件。**一般受験前提** 受験チャンスを増やす。
- ⑤一般受験:第1志望を決める。

9月~10月 学校推薦型(指定校・公募):校内選考

12月 三者面談(進路未決定者)

- ①私立大学:本命校、併願校などの候補決定。共通テスト利用型の検討。
- ②国公立大学:候補となる大学のリストアップ。願書取り寄せ

1月 二者面談 (共通テスト終了後)

○共通テスト終了後、自己採点結果及び業者による可否判定可能性を基にして国公立大学受験校を最終決定。

2 進路希望について

(1)就職

本校は、実業系高校と比較すると求人はあまり多くありませんが、民間企業への就職を希望する生徒には求人状況を紹介します。(3年5～7月)

高卒で公務員を志望する生徒については、希望を把握し、地域の予備校(群馬法科専門学校や大原専門学校)の公務員模試や模試対策講座を受けて合格を目指します。早い生徒は2年秋からスタートします。総じて、就職する生徒は自分の希望進路を自ら明確にしている生徒です。

(2)専門学校

専門学校志望者のほとんどが、総合型選抜及び指定校推薦・公募推薦で進路を決めます。看護系では、大学と専門学校を併願するのが一般的です。専門学校は就職予備校です。どの職種につきたいのか明確な学生が行く場所となります。(総合 13 人 指定校 19 人 公募 7 人 一般 6 人)

(3)短大

かつては女子学生を中心に人気のあった短大ですが、4年制大学の進学率が向上するにつれ、その数が減りました。現在就職先は保育系や介護系、栄養系など、専門資格を取得して就職するパターンが多いのが特徴的です。大学への編入を売りにする短大もあります(新島短大、國學院栃木短大等)。

(4)大学

現在では高校生の50%以上が大学進学する時代になりました。受験方法も多様になり、より細かな情報が必要になっているので、注意が必要です。

①**総合型選抜**: 学校長の推薦を必要としません。大学により様々な入試形態があります。

②**学校推薦型選抜(指定校)**: 学校長の推薦が必要です。必要に応じて校内選抜があります。(9月上旬)

注: 指定校の枠は毎年変わります。

③**学校推薦型選抜(公募)**: 学校長の推薦が必要です。校内の人数枠はないのが一般的ですが、校内選考に通過しても合格するとは限りません。

④**一般選抜**: 私立は多様な入試形態があります。国公立は大学入学共通テストを受けてから、大学の個別試験を受けます。私立も大学入学共通テストを利用した入試を実施しているので、一般試験を考える生徒は、まず大学入学共通テストへの対策を立てることが大切です。

3 お金について(受験費用、学費、奨学金、生涯賃金など)

注: 支出に生活費は含まれていない

	受験費用	入学	学費	卒業時までの支出①	生涯賃金②	②—①の差額
国公立大学	約 30 万※	約 30 万	53 万*4 年	約 272 万	約 2 億 8000 万	2 億 7730 万
私立大学	共通テスト 18,000, 個別 17,000, 私立 35,000	約 25 万	約 100 万*4 年	約 455 万	(男)*女性 は 3000 万程低い。	2 億 7545 万
短期大学	約 3 万 5000	約 25 万	約 90 万*2 年	約 208 万	約 2 億 3000 万	2 億 2790 万
専門学校	約 3 万	約 20 万	約 100 万*2-3 年	約 223 万(2 年) 約 323 万(3 年)	(男)*女性 は 3000 万程低い。	2 億 2778 万(2 年) 2 億 2678 万(3 年)
就職(高卒)	なし	なし	なし	なし	約 1 億 8000 万(男) 約 1 億 7000 万(女)	1 億 8000 万

大学卒と短大、専門学校卒では、平均して家2軒建てる位の差が生まれる。(大卒同士での結婚、専門学校同士での結婚による世帯収入を考慮すれば、その差は1億を超える。

～主な奨学金について～

○日本学生支援機構(昔の日本育英会) : 給付型、無利子(第Ⅰ種)、有利子(第Ⅱ種) があります。

3年1学期に一度だけ学校で案内があります。あとは大学入学後もあります。(一斉メールでもお知らせします)

○日本政策金融公庫:国が運営している教育ローン(有利子) 各自で申し込みます。

3 全国模試と大学受験、高校での順位について

一般試験で4年制大学を目指すなら、まずは校内平均を取ることです。

校内順位	GTZ	入学後の全国模試 偏差値(ベネッセ)	高校入試模試偏差値 (※予測値)	大学入試
5位以内	A	60 以上	67 以上	難関国公立大挑戦レベル (筑波、埼玉、千葉など)
30位以内	B1～B2	55	62	地元国公立合格レベル (群馬、宇都宮など)
校内平均 (120 位前後)	C1	44	51	4年制大学挑戦レベル

※GTZ とはベネッセの作成した学力到達ゾーンです。(A 難関国公立・私立 B 地方国公立・中堅私立)

※高校入試の県内模試と大学入試の全国模試では偏差値7の差があると一般的に言われています。

(大手高校入試予備校より)

4 進学指導について

原則として、進学指導は総合系から文理系に至る全てのクラスで対応しています。

(1) 課外授業

①土曜講座 希望受講制。

②平常課外 希望受講制。

(2) 二者面談 面談週間(年2回)の他、随時実施。生徒から希望があればその都度対応します。

(3) 進路講演会 保護者の方も参加可能です。

(4) メディアモール等の自習スペース開放 (平日 7:15～17:45 土日祝 8:00 ～16:30)

(5) 学習合宿 (3年生対象)

(6) 模擬試験 1年(3回)、2年(4回)、3年(9回)

(7) 英検の校内受験(年3回)

5 GIGA スクール構想と前橋市(本校)の計画について

(1) 実施計画

4月 生徒に Chromebook 導入、ルール説明、消耗品購入(カバー、ペン、イヤホン)

スタディサプリ、スタディサプリ English、Classi 等のサービスへ加入

5月～8月 様々な ICT 機器の使い方に慣れる。

9月～10月 教員にタブレット導入。本格的な双方向授業の開始

～3月 各種アンケートや配布物の電子化実現

(2) 予算について

別に案内した通り、上記サービスは有料ですが、他の教材の精選などで予算の削減に努めました。

・Classi 及び Classi Note 【教育管理、双方向授業支援】 2,500 円

・スタディサプリ 【学習動画、問題配信】 6,120 円

・スタディサプリ English 【リスニングなど4技能学習支援】 4,000 円

・消耗品 【タブレットケース、スタイラスペンなど】 3,000 円

なお、Chromebook の通信料金については、全額前橋市が負担しており、1 人あたりの通信量は 5 ギガ/月です。

○スタディサプリ(スタディサプリ English)について

授業以外の**自宅学習**で積極的に使用することを推奨しています。小学生～高校3年まで、自分の好きなレベルで学習できるのが特徴です。苦手分野を克服したい場合は、易しい、と感じるレベルから取り組ませると効果的です。操作が不明な場合は担任の先生に相談させてください。全県立高校が今年度から採用しているサービスです。

(3)管理について

学習はもちろんですが、充電を自宅でする必要上、自宅への持ち帰りをお願いしています。

6 探究学習について

本校では3年前から**地域探究プロジェクト**を「めぶく」と題して実施しています。

簡単にまとめると次のような活動になります。

	活動内容	目的
1年	・企業へのフィールドスタディ ・市や企業の方の講演会 ・中心商店街でのイベント参加	企業や市政が社会とどのように繋がり、どのような課題を持っているのかを知る。(インプット)
2年	・ブレインストーミング法の実習 ・模擬市長選挙の実施 ・高校生模擬議会への参加	1年で知った課題を、自分たちなりにどう改善していくべきか考え、市政への提言を行う。(アウトプット)
3年	・受験での活用(表現力の強化)	小論文や面接などで自分の考えたことを論理的に表現できるよう、考えを練り上げる。(チャレンジ)

2、3年生の保護者の方は、「なんで今の高校生はこんなことをしているのだろう。」と疑問に感じている方もいるのではないのでしょうか。入試や社会そのものが多様化している現在、点数だけを取らせればよいという時代は終わりました。以前は大学でのみ行っていたフィールドワークのような活動を高校においても実践し、社会問題を「自分ごと化」して考える人材が必要とされています。本校では「地域活性化」をテーマとして「総合的な探究の時間」の中で社会について考え、ありふれた社会の中に自ら「問い」を立てる力、そして答えのない問題の中に自ら「答え」を見出す力を育成すべく、活動を実施しています。昨年度の卒業生も公募推薦で多くの生徒が探究活動を自己アピールに盛り込み、合格を勝ち取っています。

前橋高校生学習室 オープン！

生徒の提言は、夢物語で終わることはありませんでした。2年前に提言した生徒の「前橋駅前に学習スペースを作ってほしい」という願いが前橋市に受け入れられ、2年という歳月をかけて今年5月に「前橋市高校生学習室」としてオープンしました。前橋駅前「アクエル」という好立地に設置された学習室は高校生なら誰でも無料で使うことができます。オープン初日も本校生徒以外に、前女生など多くの生徒が利用しました。今後も市に貢献できるような提案を続けていきたいと考えています。

別添資料

1 進路概況

2 総合型、公募型、一般の違い(蛍雪時代)

3 前橋高校生学習室 めぶくプロジェクトグランドデザイン

実際の自己推薦書などを提示してみる

4 指定校推薦

枠の変動について、①東大合格者数、国公立大学進学者数など、目で見えてわかる指標が変化したとき

②進学した学生の学力が低かったとき

③指定校枠があるのに複数年において活用がなかったとき

主な指定校枠について列挙する

5 公募推薦の例についても触れる